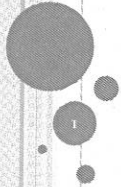


豊かに表現する子どもの育成をめざして
—お楽しみ会における劇遊びに焦点をあてて—



広島大学附属三原幼稚園
平成24年 8月20日

提案の主な内容

1. 研究の目的について
2. ねらいと手立てについて
3. 実践について
4. 成果と課題について



1. 研究の目的について

幼稚園教育要領（改定前）

領域「表現」のねらい及び内容では・・・

『生活の中で様々な音、色、形、手触り、動きなどに気づいたり、楽しんだりする』



幼稚園教育要領（改定後：平成20年度）

『生活の中で様々な音、色、形、手触り、動きなどに気づいたり、感じたりするなどして楽しむ』



幼稚園教育要領（改定前）

内容の取り扱いでは・・・

『生活経験や発達に応じ、自ら様々な表現を楽しみ、表現する意欲を十分に発揮させることができるような遊具や用具を整え、自己表現を楽しめるようにする』



幼稚園教育要領（改定後：平成20年度）

- 『生活経験や発達に応じ、自ら様々な表現を楽しみ、表現する意欲を十分に発揮させることができるように、遊具や用具を整えたり他の幼児の表現に触れられるように配慮したりして自己表現を楽しむ』

より一層意識して



教師のかかわりと環境構成

- 心を動かす環境を構成し、感じたり、考えたり、イメージしたりできるようにする
- 他の幼児の表現に触れられるような場やものの配置などを行うようにする
- 教師が子どもたちと表現する過程を共に楽しむ
- 自分なりに表現している姿を温かく見守る
- 表現したことを認めたり、共感したり、受け止めたりする

大切に

7

『お楽しみ会』での劇遊び

毎年、1月（年長）・2月（年中・年少）

子どもたちが自分たちでつくり上げていく



8

自分たちでつくり上げていく劇遊びとは

- 自分たちで劇のストーリーをつくる
- 劇遊びに必要な大道具、小道具などは自分たちで作ったり、集めたりして揃える
- 役を自分たちで決め、役になりきって表現する

豊かに表現



9

では、劇遊びで豊かに表現するための
ふさわしい手立てはどうあるべきか？

ふさわしい手立てを探っていくことを研究の目的とした



2. ねらいと手立てについて

お楽しみ会における劇遊びのねらい

『劇遊びを通して自分たちでストーリーをつくったり、必要なものを作ったり、役になりきったりして表現する楽しさを味わう』



11

ねらいに対する手立て

☆表現したくなる絵本や昔話の活用と素材の用意

12

ねらいに対する手立て

☆友だちと劇をつくる楽しさが実感できるかわり

13

ねらいに対する手立て

☆表現するための素材や用具が使える環境構成

14

ねらいに対する手立て

☆役になりきって表現することに楽しさが感じられるかわり

15

3. 実践について



16

劇『3匹のこぶた』（3歳児）より

子どもたちの好きな絵本「3匹のこぶた」を読み聞かせる

表現したくなる絵本の活用

子どもたちから



（大型）積み木でおうちを作って『3匹のこぶた』ごっこしよう～

17



“こぶたちゃん”になるから、先生“おおかみ”ね

ほくも、せんせいと“おおかみ”になる 私もおおかみ!

お面を用意したから、使っていていいよ

表現するための用具を用意



お面をかぶった子どもたちがそれぞれの動物になって、その子なりのイメージやストーリーで“3匹のこぶたごっこ”を楽しむ。

18

次第に友だちと一緒に役になりきって表現することを楽しむようになっていった

劇『のんびりきかんしゃポーくん と サークス』（4歳児）より

部屋にあった空き缶にドングリを入れて振ると電車の音がする！
 面白さや不思議さを感じて表現したくなる素材を用意

『せんろはつづく』の絵本が楽しかった！
 表現したくなる絵本の活用

子どもたちから

電車が走る国をつくろう！
 （電車ごっこ）

21

床にビニールテープを貼って線路を作ろう！

段ボールの電車で線路の上を走ろう！

“電車ごっこ”の遊びから子どもたちのイメージやストーリーが膨らんでいき、『のんびりきかんしゃポーくん』の劇遊びへ

「機関車が急な坂道を登っていけるようにみんなで押す」

22

「どうやったら重たい機関車を押してるように見えるかな？」

イメージしたことを出すきっかけとなる言葉かけ

坂道で重たい機関車を押すシーンをイメージする

教師の言葉かけをきっかけに子どもたちがイメージする。

23

よいしょ！よいしょ！って言いながら押したらいいよ！

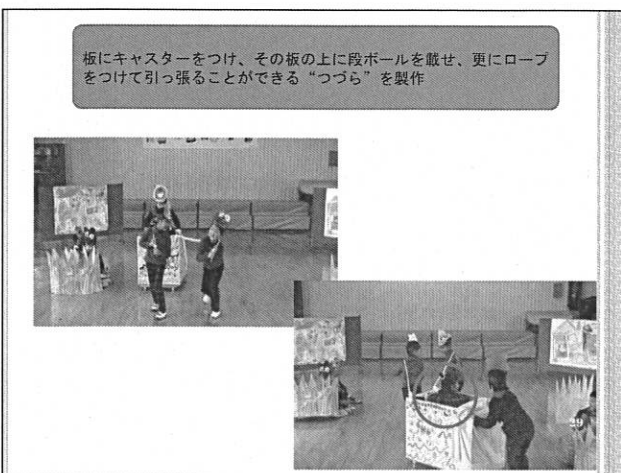
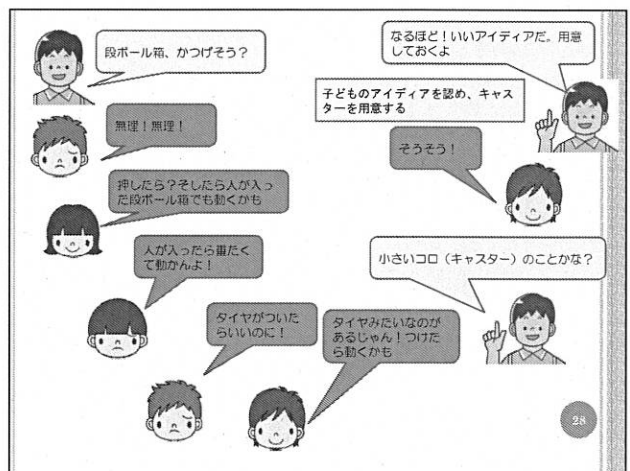
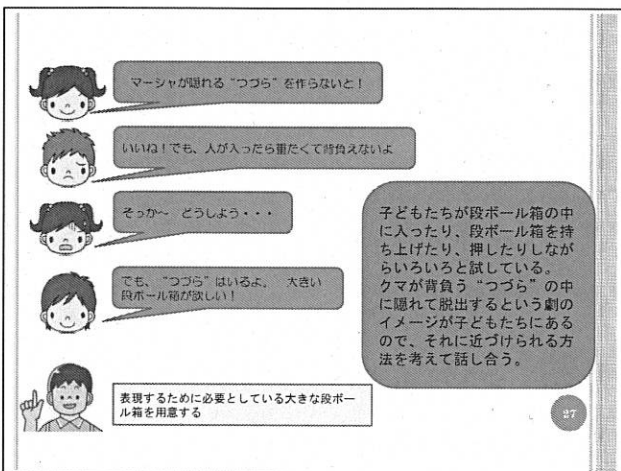
ゆっくりドジンドジンって歩いていたら重たそうよ

子どもたちがイメージしたことを表現する

いろいろ出たね～いい考えだね～

なるほど～

認めていくことで、子どものイメージを大事にする



どうやってやるん？

確かにそうやったら馬らしく見えるね

子どもの表現を認める

自分から馬の役になったA君

馬ってどうやって走ってるの？人間みたいに走ってる？

そっかあ！

A君

馬の特徴について出し合える言葉をつける

周りの子どもたちが実際に馬になりきって表現してみせる

うーん？

困ったA君

「ひひーん！」って言うんよころしながら

馬は4本足よ、手と足を本について走るんよ。ほら、こうやって

41

役になりきる楽しさを感じながら、室内を笑顔で飛び跳ねるように走り回るA君

53

手と足を使って飛び跳ねるように走ってるから、本当の馬のように見えるよ。

子どもたちが役の特徴をとらえて表現する姿を具体的に認めていく

↓

子どもたち自らなりきって表現するようになっていった

33

4. 成果と課題について

☆表現したくなる絵本や昔話の活用と素材の用意

子どもたちが好んでいる絵本や昔話、好きな動物などが登場する話を取り上げる。また、面白さや不思議さを感じることができる素材を用意しておく

この手立てによって

子どもたちの想像力を刺激して、イメージやストーリーを広げることができた。そして、広がったイメージやストーリーをきっかけに、子どもたちが主体的に劇遊びを始めることや表現する楽しさを感じることができた

34

☆友だちと劇をつくる楽しさが実感できるかわり

友だちの表現を観たり、劇のイメージや考えを友だちと積極的に伝え合ったり（出し合ったり）できるようにして、子どもたちが友だちの表現などに触れられるようにする

この手立てによって

様々な表現方法や友だちのイメージや考えなどがあることに子どもたちが気づくことができ、気づいたことを生かしながら表現することができた

35

☆表現するための素材や用具がある環境構成

自分たちが表現したいと思っていることが表現できるように、子どもたちが劇遊びに必要な素材や用具を用意する

この手立てによって

なりたい役を表現したいという子どもの意欲をより高めていくことができた。また、劇に必要な道具を自分たちのイメージに近づけるために友だちと考えたり、試したりして工夫しながら作っていきけるようにすることができた

36

☆なりきって表現することを楽しさが感じられるかわり

それぞれの役の特徴を子どもたちが出し合っている言葉かけるとともに、役の特徴が出ている子どもの表現を具体的に認めていく

この手立てによって

子どもたちが自分なりに役の動きの特徴を出しながら全身を使っていきいきと表現し、役になりきることを楽しめるようにすることができた

37

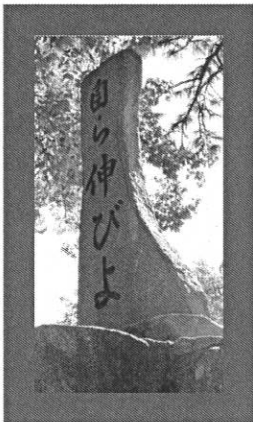
課題

子どもたちの中には、劇遊びに対する自分の思いや考え、イメージしたことがあってもそれをなかなか出せない子どももいる。そうした子どもに目を向け、思いや考え、イメージが劇づくりの場で出せるようにしていくことが大切である

今後

子どもたちが自分たちで劇を作り上げていくことに楽しさを感じたり意欲的になっていけるようにしていきたい

38



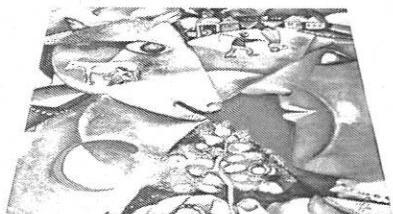
ご静聴、ありがとう
ございました。

広島大学附属三原幼稚園



鑑賞リテラシーを高める指導法を探る

－Ⅱ期 第4学年における鑑賞学習の実践より－

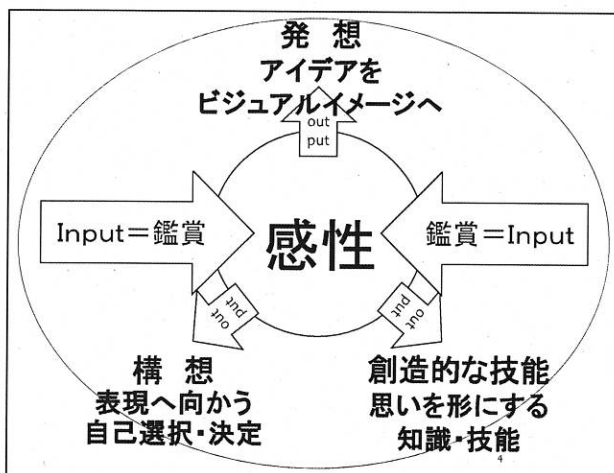


広島大学附属東雲小学校
 天野 紳一

基本的な考え方

小・中9年間でめざす生徒像

- ①自分らしい感性に基づいた
 審美眼をもち
 - ②身の回りのさまざまな対象や環境に
 主体的にはたらきかけながら
- 「美的体験を享受し」**
- ③表現することを楽しむ生徒



鑑賞リテラシーとは

鑑賞する対象(美術作品等)から
 必要な情報を引き出し
 活用する能力

(理解・解釈・分析・記述・表現)
 よみ かき

イメージと言葉とを結びつける力

身につけたい鑑賞リテラシーの内容

観察・直観

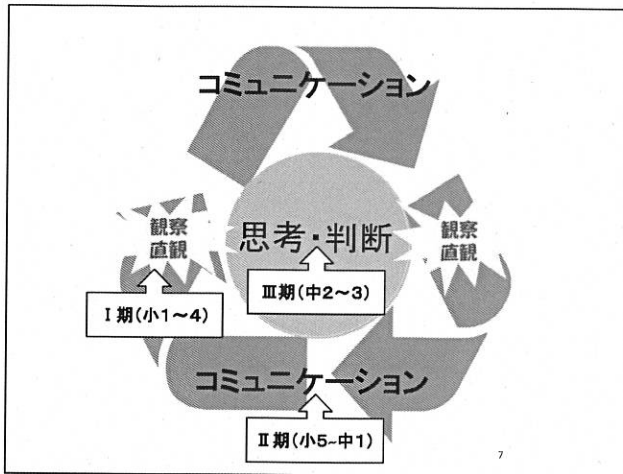
・材料、色、形などの関係を直観的にとらえ、自己との対話を繰り返しながら感じ取ること

コミュニケーション

・言語化したイメージを伝え合い、他者とのかかわりの中でそれを広げ、深めていくこと

思考・判断

・科学的概念を含む様々な要因を加味しながら分析、解釈し、自分なりの基準で価値判断すること



授業仮説

I 期(小学校1~4年生)

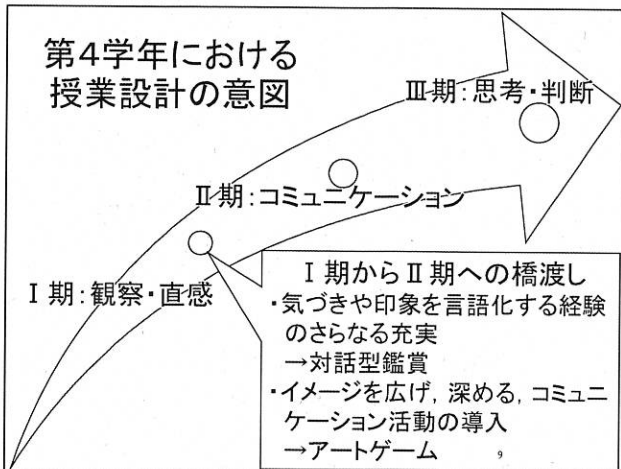
美術作品から受ける印象や気づきなどを多様な言葉に置き換える経験を重ねることが、美的対象に向かう児童の内言の発達を促し、鑑賞学習の基礎を培うことにつながるであろう。

II 期(小学校5~中学校1年生)

アートゲームの導入によってコミュニケーションを活性化させることが、個々の見方や感じ方の広がり、深まりにつながるであろう。

III 期(中学校2~3年生)

美的対象に対する個の見方に科学的概念が適切に加えられることにより、より高次の思考が促され、根拠をもとにした総合的な価値判断が可能となるであろう。



実践の概要

授業計画

- 授業A~導入(6月... 1時間)
アートゲーム:『どれがピカソ?どれもピカソ!』
- 授業B~発展1(11月... 1時間)
対話型鑑賞:『ルソーの描いたへび使い』
- 授業C~発展2(12月... 2時間)
アートゲーム:『PRESENT FOR YOU
~シャガールの不思議な世界』
- 授業D~総合(2月... 1時間)
対話型鑑賞:『拝啓 ゴッホさま』

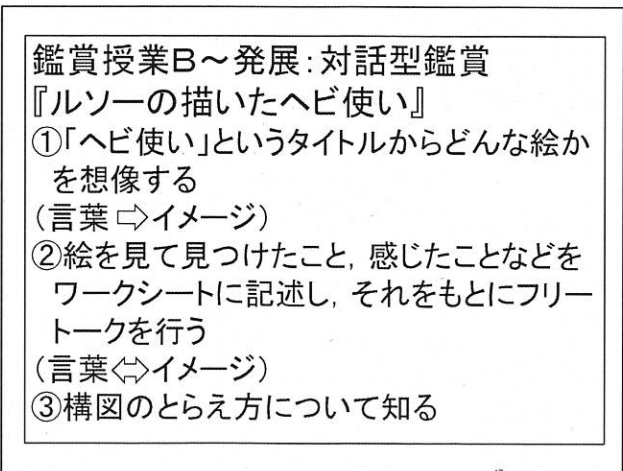
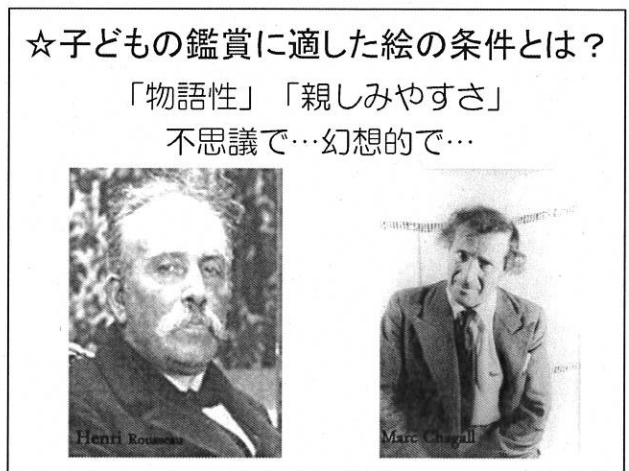
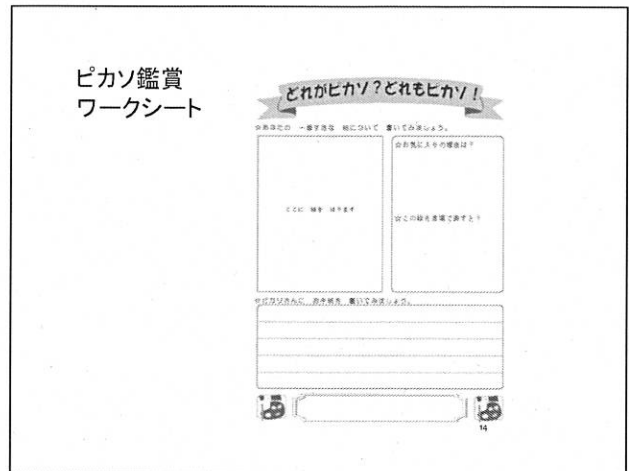
鑑賞授業A~導入:アートゲーム

『どれがピカソ?どれもピカソ!』

- ①鑑賞の視点の提示
- ②ピカソの描いた絵の中からお気に入りを選び、できるだけ多くの言葉(単語)を思い浮かべ、ワークシートに記述する
(イメージ⇔言葉)
- ③友だちの言葉をヒントに絵をさがして当て合うクイズをする
(言葉⇔イメージ)
- ④ピカソという画家について知る・親しむ



お気に入りをお気に入りの言葉で伝えよう





ルソー鑑賞
ワークシート

絵をよむ

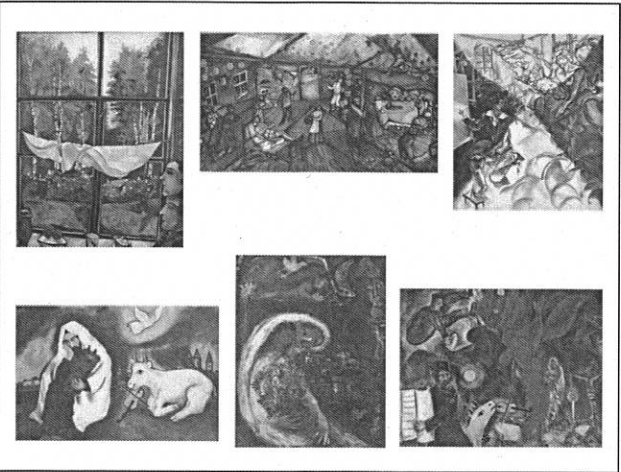
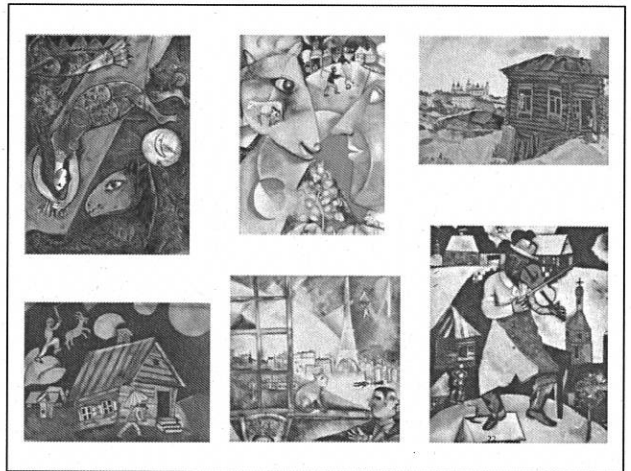
この絵が印象的だった言葉や、登場人物の印象を記入しよう。

20

鑑賞授業C～発展2:アートゲーム
 『PRESENT FOR YOU
 ～シャガールの不思議な世界』

- ①絵を背負った友だちと出会い、その印象を言葉(単語)にしてプレゼントし合う
(イメージ ⇨ 言葉)
- ②もらった言葉を手がかりに自分の背負った絵を想像する
(言葉 ⇨ イメージ)
- ③絵を決定し、タイトルと結びつける
(イメージ ⇨ 言葉)

31



授業の様子

どんな言葉をプレゼントしようかな?

この絵からうかがえる言葉はなん...

真冬の世界？
ゆかいなメロディー？

24



シャガール鑑賞ワークシート

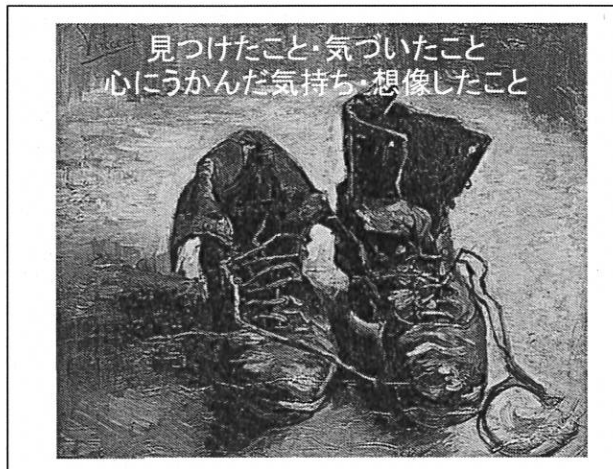
言葉のプレゼント

ヴァイオリンひき	私と村
孤独(こどく)	青いサーカス
田園の窓	絵の勉強～雨
おちた天使	誕生(たんじょう)
窓から見たパリ	亡霊(ぼうれい)
青い顔の花よめ	青い家

Form fields for name and date.

鑑賞授業D～総合：対話型鑑賞
 『拝啓 ゴッホさま』

- ①絵を見て気づいたこと、見つけたこと、感じたことなどをワークシートに自由に記述し、それをもとにフリートークを行う
- ②ゴッホの生涯や、簡単なエピソードを知る
- ③ゴッホへの手紙を書く形で、授業を終えた感想を書く



ゴッホ鑑賞ワークシート

はいはいゴッホさま

Two large empty boxes for student responses.

結果と考察

検証方法

(対象児童...第4学年 37名)

- ①ワークシートに記述された言葉(文の場合には意味をなす文節単位に細分化)を抽出する
- ②抽出した言葉を鑑賞の深まりに応じて3段階(※パーソンの発達段階参照)に分類する
- ③記述された言葉の質的な推移から集団としての変容を見取る

※パーソンズによる美的体験の認知上の発達段階

- (I)自己中心的な好き嫌い(favoritism)
個人的な好みや連想を特徴とする。
- (II)美しさと写実性への注目(beauty and realism)
描かれた題材そのものに興味をもつ。写実の程度で判断する。
- (III)表出力(どのように表されているか)への注目(expressiveness)
美醜に拘わらず作者の体験がどのように表現されているのかを見る。
- (IV)様式と形態への注目(style and form)
作品の様式や形体の多様性と同時に、それらの解釈の多様性を知る。
- (V)自律性(autonomy)
自分自身の体験と責任に基づいて作品の価値判断を行う。

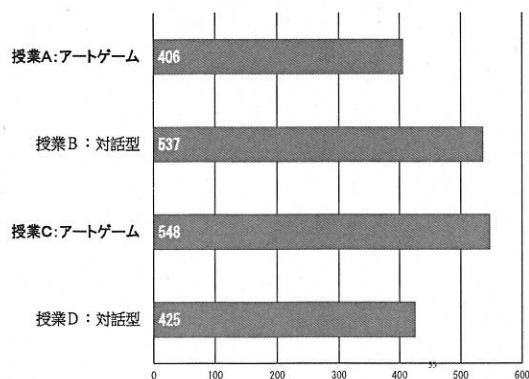
「気づき」の分類

何が
↓
どのように

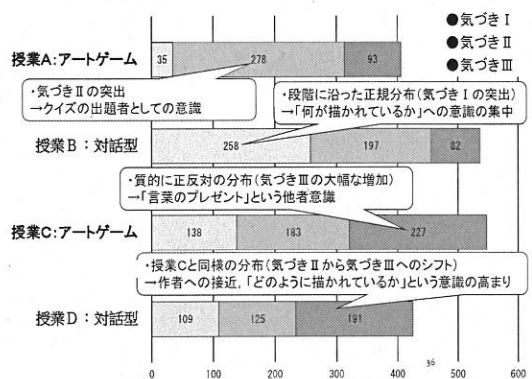
- 気づきⅠ...描かれている色や形、物や場所、人物などを指し示す言葉(画面上に描かれた事実)をそのまま書いたもの
- 気づきⅡ...画面やモチーフから、自分なりに感じ取った印象(美醜や明暗など漠然とした感覚を含む)を言葉にしたもの
- 気づきⅢ...色使いや描かれ方、構図や技法に関する気づき、画面からは直接見取ることのできない音や匂い、状況や雰囲気などを推察した言葉、主題に迫る象徴的な言葉

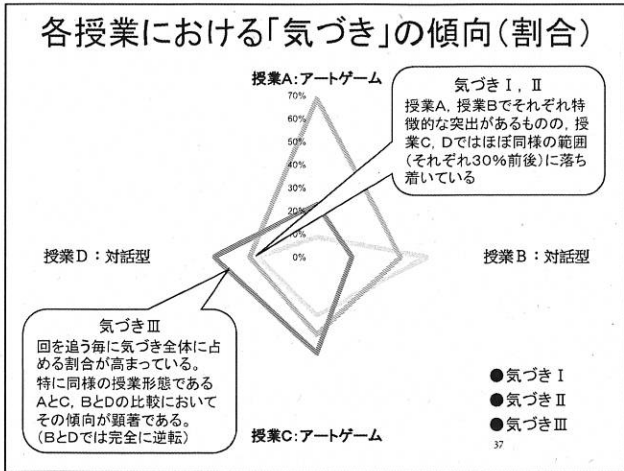


各授業における「気づき」の数(総数)



各授業における「気づき」の内訳





成果と課題

38

- ### 成果
- 「気づき」の数の増加
 - 鑑賞学習を主体的に楽しむ児童の姿
 - イメージと言葉を結びつけるスキルの向上
 - 「気づき」の質の高まり
 - コミュニケーションによる視点の広がり
 - 他者意識が生む視点の深まり
 - 経験を重ねることによる解釈の多様化
- ### 課題
- 汎用性の追究…より具体的な「気づき」のモデルの作成(評価基準)
 - 個の変容の見取り
 - 気づきの質を高める要因の絞り込み
- 39





主催●広島大学

主幹●広島大学附属小学校・中学校・高等学校

第4回広島大学附属学校園合同研究フォーラム実行委員会 発行